

Repair Top Process

高速部分めっき法

【リペアトッププロセスとは】

高速部分めっき法でめっき溶液を補修個所に供給し不溶性電極を接触させます。電源装置で電極に電気を流し、水溶液中の金属イオンから金属を析出させます。原理は一般的な電気めっき同様ですが、タンクを使用しない為現場施工が可能です

【機械加工ミス、削りすぎた製品】

大型モーターシャフトを機械加工で制作中、誤って製品を削り過ぎた。補修方法に槽めっきを検討しが品物が大き過ぎる為、めっき槽に入らない。溶射での補修も検討したが熱を加えたくない為、断念した。作り替える納期もなく、また作り替えた場合、莫大な費用と工期が掛る。リペアトッププロセスでニッケルめっき補修を行いました。

大型モーターシャフト現場補修施工

